

主催 政府拉致問題対策本部・江戸川区

映画上映会



めぐみー引き裂かれた家族の30年

日時：平成30年
9月12日 (水) 祝
開場：13:00
開演：13:30
～15:30



Abduction The **Megumi** Yokota Story

【内容】※手話通訳があります。

- ・開会あいさつ
- ・政府の取組みについて 政府拉致問題対策本部事務局
- ・ドキュメンタリー映画「めぐみー引き裂かれた家族の30年」上映



タワーホール船堀
(小ホール)

江戸川区船堀 4-1-1

入場無料
定員150名

当日受付 (先着順)

※満席の場合は、入場をお断りさせていただく場合がございます。

■問い合わせ：江戸川区総務部総務課法務担当係 電話：03 - 5662 - 6264 (直通)

めぐみ

- 引き裂かれた家族の30年 -

入場無料

定員150名

(当日受付・先着順)

《拉致問題解決のためにできること》

家族を、人生を奪い去った北朝鮮による拉致。ある日突然連れ去られ、今も救出を待ち続けている…。それが、もしも自分だったら、自分の家族だったら。

拉致問題という問題があり、いまだに解決していないことを知ってください。拉致問題に関心を持ってください。それが、この問題の解決のために、とても大切な一歩となるのです。

映画「めぐみ - 引き裂かれた家族の30年」は、わずか13歳の時に北朝鮮に拉致されてしまった横田めぐみさんの話を中心に、拉致問題の経緯や被害者御家族の救出活動などを描いたドキュメンタリー映画です。

1977年11月15日朝、いつものように学校へ出かけた、当時13歳、中学1年生の女の子が、夕方、学校からの帰宅途中に突然姿を消しました。

横田さんご一家の平和だった日々は、その瞬間から一変し、あらゆる事態を想像しながら、無事を祈り、帰ってこない娘めぐみさんを捜し続けることになりました。その実態が〈北朝鮮による拉致事件〉という途方もないものとは思えないで……。

それから30年。怒りや悲しみに包まれながらも、めぐみさんご両親はめぐみさんの生存を信じ、めぐみさんを取り戻すための果てしない闘いの日々が続いているのです。

その凛々しくも強く懸命な姿は多くの人の共感を呼び、日本政府だけでなく、多くの国を動かすまでになりました。この映画では、その様子が克明に描かれています。

製作総指揮：ジェーン・カンピオン 監督：クリス・シエルダン&パティ・キム

2006年/アメリカ映画 原題：Abduction The Megumi Yokota Story

Q1 拉致問題って何ですか？

A1 1970年代から1980年代にかけて、北朝鮮が、多くの日本人をその意思に反して北朝鮮に連れ去りました。

北朝鮮は、長年にわたり日本人拉致を否定していましたが、2002年9月の第1回日朝首脳会談において、初めて日本人拉致を認め、謝罪しました。しかし、拉致された日本人のうち、日本に帰国できたのは5名にとどまっています。

5名以外の拉致被害者についても、政府は、その速やかな帰国を、北朝鮮に対して強く要求しています。

Q2 日本には、拉致被害者は何人いるのですか？

A2 政府が、北朝鮮による拉致被害者として認定したのは17名です。このうち5名は、既に帰国を果たしましたが、残りの12名については帰国できていないままです。

また、朝鮮籍の幼児2名が日本国内で拉致されたことも明らかになっています。

このほかにも、拉致の可能性を排除できない方々も多くおられ(※)、政府は、認定の有無にかかわらず全ての拉致被害者を一刻も早く帰国させるように、強く求めています。

(※) 拉致の可能性を排除できない者として883名(2017年4月1日現在)に関して国内外からの情報収集や捜査・調査を続けています。